

第 17 回 定例教育委員会

1 開催年月日

平成 22 年 2 月 12 日（木）

2 主な議事の概要

[説明事項 1] 奈良県教育委員会事務局組織及び事務分掌の見直し（案）について

平成 22 年 4 月の教育委員会事務局組織及び事務分掌の見直しに関して説明があり、承認されました。

委員から、学校教育課生徒指導第二係の新設で、生徒指導を充実していくのは良いことであるとの意見があり、事務局から、「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」で奈良県は暴力行為でワースト 2 位であり、生徒指導は課題となっており、係新設はその対策でもあるとの説明がありました。

また委員から、対策として、目に見えることであり、市町村教委、学校と連携して対応してほしいとの意見がありました。

[説明事項 2] 平成 22 年度当初予算（案）について

[説明事項 3] 公立高等学校の授業料無償化の方向性について

2 月定例県議会に提案される平成 22 年度当初予算（案）と、公立高等学校の授業料無償化の方向性について説明があり、承認されました。

委員から、学校の耐震化対応に関する質問があり、事務局から、耐震化設計に時間がかかり遅れてきていること、経費がかかるほか、構造計算がネックとなって改修はあまり進んでいないこと、校舎の調査は、生徒の授業もあり放課後等になるため時間がかかっていること、耐震設計は業者がおこない一番効率的なものを示しているとの回答がありました。

また委員から、小学校外国語活動の円滑な実施のための非常勤講師の配置事業について、十分な講師の人員確保ができるのか質問があり、事務局から、何校か掛け持ちすれば、12 人～13 人の非常勤講師で足りると考えているとの回答がありました。

また委員から、学校非公式サイト監視・調査研究事業での非公式サイト監視の実施方法に関する質問があり、事務局から、業者委託で実施するとの回答がありました。

また委員から、「講師塾」開講事業に関する質問があり、事務局から、講師の場合、新規採用教諭の研修プログラムを受講してもらえないので、「講師塾」で教師としての資質を高めてもらう目的であること、また教員の確保という意味もあること、教職員の定年退職に伴う世代交代が急激におこなわれるため、若年代の講師のサポートと考えているとの回答がありました。